



みつくら



《 輸入大豆 》

17/18年 世界及び米国大豆生産予測・需給予測

米国農務省が5月10日発表した、今年初めての17/18年度の世界大豆生産・需給予測によれば、生産量は中国等で増加するものの、ブラジルや米国での減産を反映し、前年比1.0%減の3億4,468万トンとなりました。

消費量は中国や米国などで増加することから史上最高となる見込みとなり、その結果、期末在庫は前年比1.5%減の8,881万トンとなっています。

また、同日発表された米国大豆生産・需給予測によると、作付面積は前年度から大きく拡大する見通しとなっていますが、単収が史上最高を記録した前年度から低下することにより生産量は前年比1.2%減の1億1,580万トンを見込んでいます。

17/18年産 世界大豆生産・需給予測

生産量	3億4,468万t	(対前年比	1.0%減)
消費量	3億4,421万t	(対前年比	3.9%増)
期末在庫量	8,881万t	(対前年比	1.5%減)
期末在庫率	25.8%	(対前年度差	1.4ポイント減)

17/18年産 米国大豆生産・需給予測

生産量	1億1,580万t	(対前年比	1.2%減)
消費量	5,675万t	(対前年比	2.1%増)
輸出货量	5,851万t	(対前年比	4.9%増)
期末在庫量	1,308万t	(対前年比	10.4%増)
期末在庫率	11.3%	(対前年度差	0.7ポイント増)



○5月7日現在の米国大豆作付率は14%、前年を下回る

アメリカ農務省は5月8日発表した、5月7日現在の米国大豆作付率は主要18州平均で14%（前週10%、前年21%、平年17%）と前年を7ポイント、平年を3ポイント下回って推移しています。ルイジアナ州で平年を21ポイント上回る76%となっている一方でミネソタ州では平年を20ポイント、前年を36ポイント下回っており、今後の天候回復が期待されます。

○17年産カナダ大豆作付は27%増、史上最高を更新

カナダ統計局がこのほど発表した、3月末現在の17年産主要農産物の作付意向調査によれば、大豆の作付面積は前年比27%増の696万エーカーと大幅に増加し、史上最高を更新しました。大豆の作付は主要生産州でいずれも増加見通しになっており、オンタリオ州やケベック州でも10%以上の増加率で史上最高を更新する見通しとなっています。

三倉産業株式会社

仙台市若林区卸町1-4-7 TEL 022-232-6151

URL:<http://www.mitk.co.jp/mitukura> E-mail: mitk@mitk.co.jp

<< 「豆」がメロディーを奏でると「豊」という字ができます >>



○世界のGM大豆の現状について報告—国際アグリバイオ事業団

国際アグリバイオ事業団がこのほどまとめた報告書によると、GM大豆は世界で9,140万ha栽培されており、世界のGM作物総作付面積の50%を占めました。世界の大豆生産の内、78%がGM品種となっており、その中でGM品種の割合が90%を超えるのは、アメリカ、ブラジル、アルゼンチン、カナダなど主要産地が軒並み名を連ねました。

《 国産大豆 》

○平成28年産国産大豆入札情報

平成28年産国産大豆の4月の入札結果が、日本特産農産物協会より発表されました。

それによると、上場数量が8,282トンで、落札数量が4,073トン、落札率は49%という結果となりました。平均落札価格は、60kg/9,403円となり、前月と比較すると、60kg/138円値下がりしました。

普通大豆の銘柄別では、九州産フクユタカが前月から若干値下がりする一方で宮城県産ミヤギシロメが60kgで200円程値上がりするなど産地や品種によってまちまちの傾向が見られました。

入札月	上場数量	落札数量	落札率
16年 12月	5,009 t	2,020 t	40%
17年 1月	7,178 t	3,563 t	50%
17年 2月	10,134 t	5,169 t	51%
17年 3月	9,819 t	4,758 t	48%
17年 4月	8,282 t	4,073 t	49%
合 計	40,422 t	19,583 t	48%

《 トピックス 》

○29年産播種前入札は平均9,319円、九州産フクユタカなど全量落札

日本特産農産物協会は4月28日、29年産大豆の播種前入札（試験導入）の結果を発表しました。それによると60kg当たりの平均落札価格は9,319円となり、上場数量1万2,157tに対して落札量は4,485t、落札率は37%でした。九州産フクユタカが全量1万円以上で落札される一方、その他の品種の落札率は低く、品種毎の人気差が表れた格好となりました。

この結果から九州産フクユタカは通常入札で1万円を下回ることは考えにくく、その他の品種は条件次第では通常入札の方が安くなるかもしれません。総じて一部の品種を絶対に確保する必要がある人が積極的に入札したものと思われます。

三倉産業株式会社

仙台市若林区卸町1-4-7 TEL 022-232-6151

URL:<http://www.mitk.co.jp/mitukura> E-mail: mitk@mitk.co.jp

<< 「豆」がメロディーを奏でると「豊」という字ができます >>